





美濃舊衣八丈綺談卷之三

東都曲亭馬琴編演

離為火

落黄葉

白木屋緒平ハ極ゆる。殘忍の癖者なり。謀松が為命死す。隣に
 あつた。妻のう子の子のう子ハ心よかる。そのころと謀松が宗と。三年來
 物くちやわらう。その子の危窮を救ひ。謀松が罪障を贖ふべし。と是
 ころ利欲計より。軀て宿所をわたり。陽に入恩を施せ。陰に
 忌む。あむらうを心放さ。又使る小廝の中。その名を岐義と。ゆ
 當國羽栗郡る。復塚の孀婦が子。こまに緒平が塙橋へ材木店を
 ころより。三年使と。年十八より。謀松と立。わらびて。心
 心操り。あむらう。主のあむらう。のころ。緒平は。謀松を忌む。

一ノ前巻三

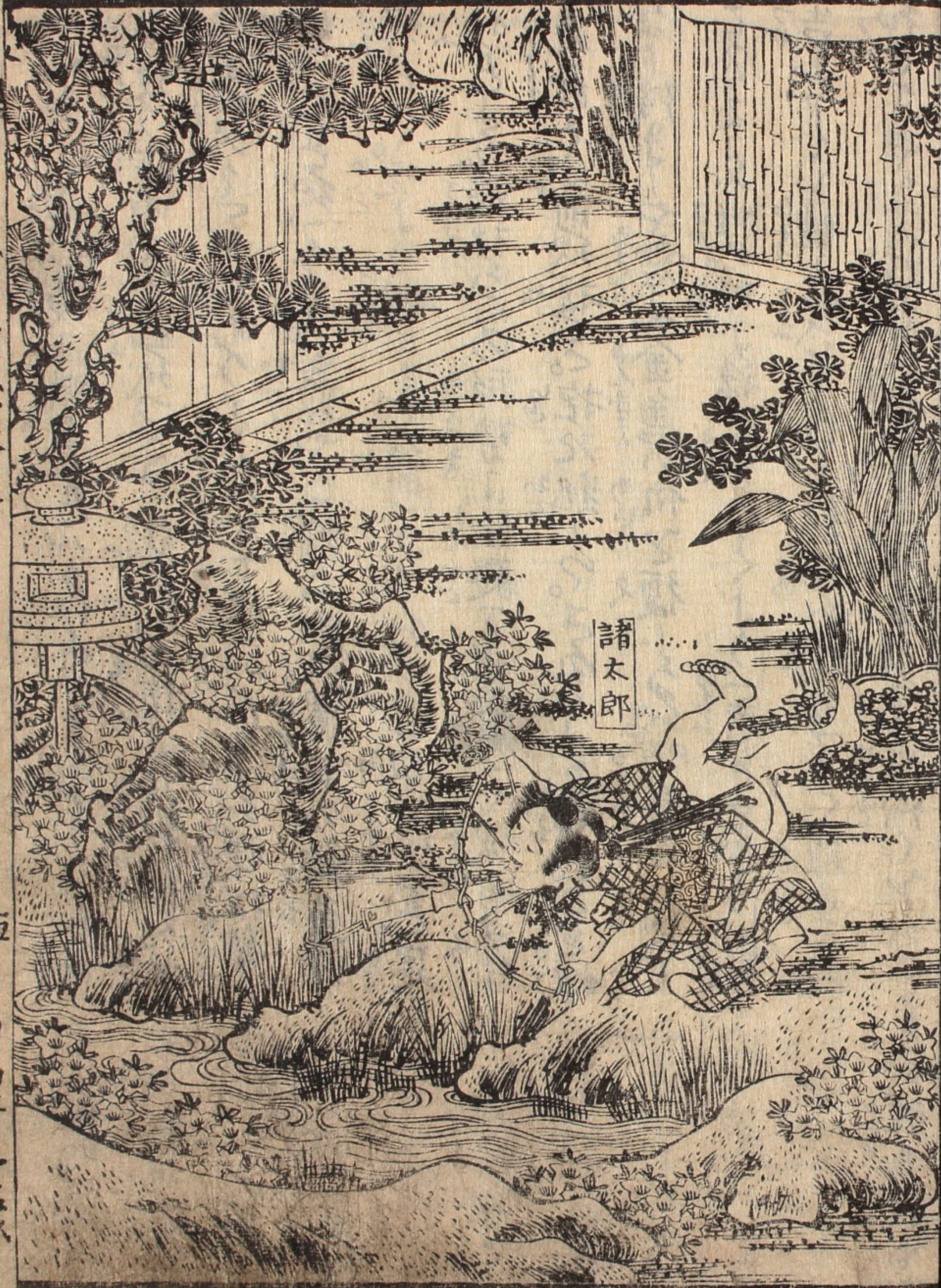
馬琴編演

果敢き暮く。明とび天文十五年。春は夏長く。迎梅雨晴く。比猪太郎が
 鍾をこし。金魚を鮠に捉くを多り。金魚はむらむら邦はは先朝後拍
 原のち時よ。文亀二年壬戌の春正月。異國よりこは紙渡しく。左海乃
 津よ来船り。このと死の魚の多と赤白黒の三種よく。更紗をこしよの
 り。そのとらこは紙畜ふのあり。その種数も夥出来て。銀魚あり。玳瑁魚
 あり。こは紙今より文紗魚と又金魚はて尾の形。鯉魚に似る紙金鯉魚とい
 研習今の和金魚と又金鯉魚あり。矮魚あり。金鯉に即ひとひは数魚に即
 らんらちうみく。らんらちうみ亦虫名うみえ。そのと黄うみ紙丹魚といよこ
 らの稱呼ハ漢名るり。又簾尾あり。凹尾あり。両端蒲萄一文字八文字又十
 文字幣等。笥尾の種くハ尾の形紙のくを紙紙く。三岐四岐箭尾房尾
 楫尾。耐斗尾と名をいろく。又紙えといと後ののりみく。をいめく。金

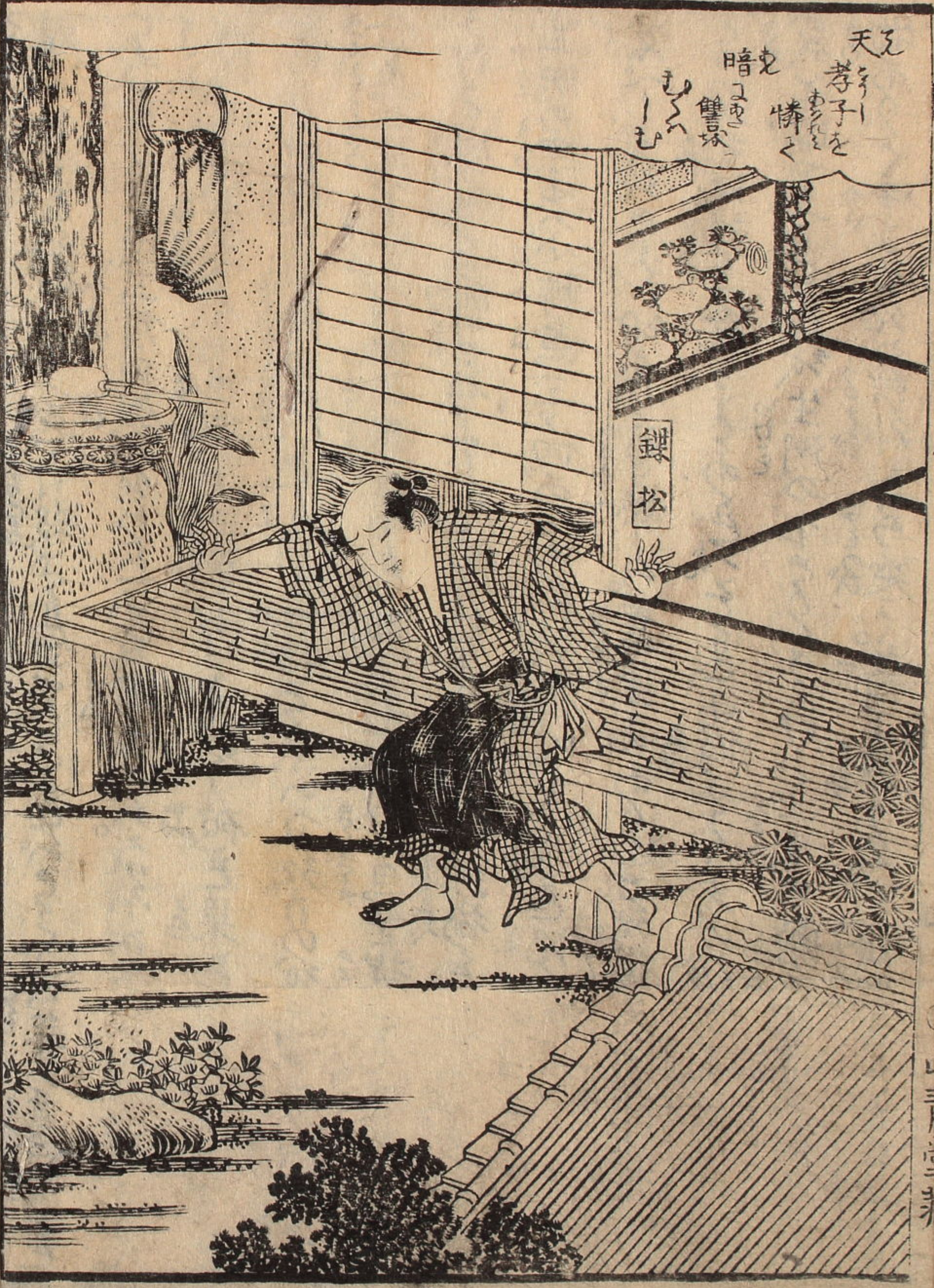
魚の渡アしより。僅ふ四十餘年。我歴てよ。價も殊貴くをこ。猪太郎一
 つぐいこ紙紙えく。獲まくやとく。呪まくは。愛も濁る。猪平の
 日來の谷は似げら。通金魚二尾と講く。背門なる度。楳松を。俄項よ
 こちちなる生測と造じ。餌畜水曝旦夕よ。生測の蓋の周圍まぐる。楳松小
 任く。件の金魚矢く。猪太郎ハ只眉小次乃つく。泣ねひて。賺と
 叫び止む。その声常はゆ。猪平ハ店より走り来く。癖の執をゆる
 あく。楳松が項上纏く。膝のやとり。引よせつ。握る春の麻を。なうりふ
 数回打懲しく。眼を睜し。声をうり。立ち中をま。白徒生測乃蓋とよく
 とよ。と豫より。主命我も。足らぬ心のま。い
 雨のま。社殿の法と捨て。ありの金魚と。紙典の奴。い
 鮠の正を。女竊よ。人小賣く。罪紙鮠小負と。わら。人明白よ

ことばを以て首伏せよと教國と。又数回打懲し。さすその怒はたゞしく
 裸に就いて縛り。背門の鴨柄の釣揚。か子鍼といふの或醫へ突立て
 いと苛く責し。裸にまじく。苦痛はゆるむ。あやうく叫ぶ声
 おもむく。伊え。一の四の慌忙。病の床を膝行。出言。あはれ。喝て良を
 寛め。小廝ホも泣き。裸にが。勸解し。諸平。僅は。或を。めく。裸
 松と信と疾視。この偷見。さす。三日のうち。小彼。金魚と。さす。さ
 そのさび。釈迦。あはれ。孔子。まじ。勸解。さす。こと。決し。く。あはれ。さす。さ
 芝期。せよ。と。罵り。捨。鶴と。外面。出。一。の。四。の。施。く。小廝。ホ。一。く。裸。松。が
 索。須。釋。ち。ろ。く。せ。竊。は。勸。解。し。慰。め。り。さ。る。程。は。裸。松。に。全。才。既。は。腫。痛。を。て
 その。目。の。用。は。ゆる。く。さ。す。次。の。目。と。さ。骨。節。の。疼。め。と。苦。痛。を。忍。び。て
 新。水。の。み。ぬ。勤。め。む。さ。り。つ。く。さ。あ。や。う。さ。す。盟。の。内。彼。金。魚。と。教。乃。如。く

贖。さ。す。こと。さ。あ。や。う。さ。す。打。殺。さ。す。さ。あ。や。う。さ。す。去。年。の。某。月。の。日
 さ。あ。や。う。さ。す。三。度。の。服。は。あ。ら。せ。と。も。衣。を。さ。あ。や。う。さ。す。さ。あ。や。う。さ。す。の。後。さ。あ。や。う。さ。す
 綿。入。り。の。紙。夾。衣。と。夾。衣。と。又。單。衣。と。か。う。破。れ。果。と。と。古。衣。一。つ。と
 さ。あ。や。う。さ。す。一。猪。半。疋。と。さ。あ。や。う。さ。す。長。物。と。さ。あ。や。う。さ。す。の。紙。何。と。て。價。を。死
 金。魚。二。尾。を。皆。ふ。べ。死。只。權。は。あ。は。れ。鮎。は。あ。は。れ。金。魚。を。捉。ら。ず。瘠。者。紙。嵐。は
 け。く。眼。前。に。盗。せ。ぬ。紙。を。さ。あ。や。う。さ。す。外。袴。と。さ。あ。や。う。さ。す。計。る。ふ。さ。あ
 生。例。の中。に。小。鯽。魚。二。四。あり。さ。あ。や。う。さ。す。彼。味。を。忘。れ。さ。あ。や。う。さ。す。さ。あ。や。う。さ。す。の。後。さ
 来。べ。い。さ。あ。や。う。さ。す。尋。思。し。舊。里。は。あ。り。し。と。死。舊。夫。が。靴。を。捕。ら。ず。強
 さ。あ。や。う。さ。す。紙。を。さ。あ。や。う。さ。す。さ。あ。や。う。さ。す。の。後。さ。あ。や。う。さ。す。の。後。さ。あ。や。う。さ。す
 嵐。を。造。り。つ。く。さ。あ。や。う。さ。す。生。例。の。中。に。一。尾。の。鯽。魚。を。置。餌。と。し。て
 物。あり。く。中。に。さ。あ。や。う。さ。す。の。後。さ。あ。や。う。さ。す。の。後。さ。あ。や。う。さ。す。の。後。さ。あ。や。う。さ。す
 前。は。彈。う。く。機。関。と。さ。あ。や。う。さ。す。の。後。さ。あ。や。う。さ。す。の。後。さ。あ。や。う。さ。す



諸太郎



天
孝子
暗
雙
一
一

銀松

ところちかく。獲と俟は暇もなげにひらきまふふしとちをばあはれめづり
 直降り。度のをとまてみつる。背門の槐は日影傾け、雀も時解求食す
 比生側のくふおわりの。忽地苦と叫びし。蝶松葉のわやとて走り
 かつことと然しんふ。忿怒する措太郎の置餌の鯉魚。元個の彈丸は
 弾とて。吃より項より。筋前より。ゆりて血は塗はし。足はなまるとして
 少とて。裸にこの形勢は。胸は痛む。足は癱に。魂も才は。播種は。轆がごとく
 走さる。筋前を。控え起し。さぬく。又勅を。緯絶し。しるべしとて
 め。淡す。や。怒ふ。金魚の仇を復し。つ。呵責を脱する。や。と。お。よ
 ちの。よ。が。性。の。好。ま。ね。ば。さ。し。よ。り。一。度。を。せ。ご。り。殺。せ。ば。よ。る。人。も
 生。ご。て。一。度。竊。に。畏。れ。さ。り。わ。が。お。は。獲。も。せ。ご。罪。重。さ。の。奴。辱。と。醜。し。も。
 和子。は。や。年。の。取。も。左。右。の。指。は。満。ち。も。その。性。況。は。さ。し。も。強。も。畏。れ。も

ありありと置餌の鯉魚をとりんとす。彈の弦はひねりし。入る。鼻。を。命。を
 預め。つ。び。つ。つ。こ。目。殺。さ。よ。お。れ。は。ど。こ。も。掛。り。強。り。て。ま。の。一。子。は
 喪ひ。つ。後。く。の。釋。言。は。へ。る。一。命。運。の。場。を。所。り。つ。と。と。毎。は。詛。語。は。
 後。悔。さ。す。は。し。つ。は。只。速。は。死。せ。と。お。ひ。決。き。遠。く。度。の。松。は。常。に
 投。げ。猛。ま。ん。と。ま。ま。こ。生。憎。は。太。中。なり。索。う。ぐ。ら。し。う。ふ。く。つ。の。腕。を
 三。つ。び。か。る。は。三。度。彩。雛。と。く。さ。さ。か。と。竟。は。死。る。と。只。呪。を
 う。た。切。ん。と。お。お。わ。ら。う。は。も。と。又。よ。寸。許。を。か。つ。は。げ。お。ふ。の。こ。あ。く。す。の
 う。い。で。や。小。川。に。投。ん。と。く。庭。門。より。出。ん。と。く。又。忽。地。は。お。よ。や。や
 百。歩。の。内。り。と。と。こ。を。去。る。は。逃。る。は。何。れ。も。の。後。は。は。く。こ。こ。に。死。な。さ
 孰。く。縁。由。と。ま。る。ぶ。死。せ。め。く。一。筆。送。さん。と。お。ひ。く。し。く。竹。塚。の。ち。り。ん
 馳。ま。さ。る。右。の。小。枝。に。嚼。ぬ。つ。血。氣。の。く。障。子。は。と。と。と。緯。の。秘。書。送。

大南談卷二

新編海防草紙

又猪太郎が元敵に對ひて。汝が涙の覆水も悔てかゝぬ才の科我勸解る
唱名一とぞら小眞土の傳我娶まつ。折戸乃國端らえと。園の小川に死
中。驚死いいと汝くこと清死心の神ぞ。ある因果觀面謀松が又謀め
猪平が非我のも洗ようち殺さる今又猪平に謀松がかけらる畏よ子と
殺さる。彼一隻の鬼に起る。こまの二尾の金魚に終る。輪廻へえぐる
車のよく。意報へ只金の物はあま。異るらむ。天網疎小く漏る後と。
仇とあら後たえらるむ。復た我力の仇あり。底の水層と只管よ
死我ゆいぞ良とわる。おの黄昏のひりりけむ。猪平ある小物とて
この後乃と我あるむ。背門の折戸を鎖と死よ。あまこ。小猪太郎が
死る我入てく。あま。驚死駭ぶらる人。杖ら。竹塚のむら小
出く。いと泣く伏流へ猪平へ。子子の亡骸を抱起。く。且く涙は我

ゆると。謀松が血をとり。障子小書送せ。幾分の文字と
るる。畏よかりく。命我預せ。猪太郎が異かる光景を疑ひ。解るがら。
うらむ。やべ死と日と。後ま。小野武部。謀松我逐る。彼を
身。被る。坂橋の欄干。腕く。草履ありと。僅よ。我りてく。ま
律の越我告。猪平の遂は。術うて。園のら。子子の骸を打ちりつ
泣わ。次の日尾の茶田比所へ送す。送骨。甚提所。白木比報輪寺へ
葬り。か。は。後。女房。四。猪太郎。我の。い。出。て。位。位。説。て。
涙の乾く隙を。さ。と。や。九。年。が。間。う。ち。あ。り。つ。つ。よ。か。我
憂患。病。朽。折。と。自。粥。ぐ。も。咽。喉。は。ら。と。ど。日。よ。添。く。ま。り。猪。の
終。と。果。ぶ。え。え。猪。平。ま。ま。と。く。曾。苦。く。今。昔。我。あ。り。ひ。か。と。六
公。つ。く。と。謀。松。を。引。入。る。と。一。子。と。い。ふ。と。豊。く。死。す。や。と。是。信。奴。親。る。

山崎堂新

七

謀殺の端緒を此處に結ぶ。先非と悔くその子と救ふ善報こそありては
 家狗よる我々嘆息の秋危のあふとくは涙腫くく人の為を慈悲善根の
 益の所ゆえ悔れ我々志して。とおの捷ひは神祇恨み佛我々志して焦燥の
 人は貴死するや。移ると女房因が斯有と云。あつとく歎くと慰めろ。さあ
 女は顔の憔悴と云。詛さう歎息。大約人の親愛の夫婦はすまこの
 るけいどと云いと悲しめと云。おん力も告げり。いと小一個乃女児
 あり。渠はまてく僅は百日。前妻喚声力まする。いと。養育の役も我
 失ひ。あつと端午の誕生の日。相禪と云。養育ははこ。我々の夜は分とて
 嬰兒と云。抱彼此と徘徊せし。宿縁ありてや。あつとく小川の橋にうち
 ころり尾花氏の門は棄れ。我々彼人極く養ひたり。お駒と云。つけく寵愛を
 けり。いと。養育は新秋賣序は。あつとく。わく。彼我々我々女児と云。て。

容止も。壽稀なる少女より。つ。か。又。この如く移徒せし。より彼人乃宿所
 對し。背門の川。一條。隔る。あつとく。彼我々。是首より。居る。つ。あつとく。

吾侪の遺跡て。公彼我々。あつとく。我々。要は。は。こ。子。子。は。あつとく。

こんどく。半晌も。活業は。懈ん。は。益の。正。為。と。あつとく。

ちり。西三。美。我々。と。く。儂。く。は。女。児。を。今。あつとく。

よ。は。又。さ。と。く。艶。麗。く。と。ろ。ろ。ん。と。ん。と。あつとく。

生。と。一。日。の。令。月。土。辰。の。日。は。こ。僅。は。十。年。我々。一。期。す。と。く。親。は。長。我々。

送。又。お。駒。が。誕生。の。日。は。こ。と。あつとく。

泥。と。く。一。概。は。決。め。が。く。五。人。侪。不。思。我々。

女。児。と。云。棄。れ。彼。の。衣。は。な。ん。と。腹。は。貸。福。か。あつとく。

よ。は。と。く。は。の。我。と。脚。が。す。と。わ。と。く。あつとく。

早とく酔ふが如く。醒る多如く。私抗ふ。百會のあつり。私直と相原素吉主の
 雙敵の尾花才作らうける。軟かりせば。ぞめり。ざんや。こもは。きざり。
 のちろ。二角や。は。こ。母の乳。の。く。子。ま。わ。り。せ。し。こ。も。の。こ。れ。少。へ。思。は。り。
 恵も。う。奴隷。の。く。使。し。こ。も。よ。二。三。の。命。的。の。主。の。仇。人。と。替。へ。の。鳴。呼。し。
 ち。あ。い。と。ど。怨。ある。人。と。志。と。で。女。兒。を。駒。と。其。の。門。へ。棄。つ。成。り。お。見。
 這。奴。の。守。の。老。臣。の。牧。村。や。の。壻。の。と。今。入。る。五。浮。浪。人。行。の。財。祿。
 お。ぶ。ら。た。た。た。や。を。駒。の。珠。の。富。む。実。の。親。を。川。一。條。で。隔。く。こ。も。の。外。と。也。
 の。あ。り。ま。と。月。と。比。花。も。と。喻。人。可。惜。少。女。の。浪。人。の。女。兒。と。い。ひ。て。一。生。涯。
 定。し。と。と。う。過。さ。ら。め。ら。み。ら。ん。た。が。恨。め。り。と。を。ろ。り。あ。く。今。更。は。
 ぞ。復。さ。ぶ。ら。方。便。は。は。か。り。せ。ば。尾。山。と。く。才。化。が。空。墮。し。と。お。ま。ま。ふ。
 足。殺。ま。さ。ぶ。り。い。ん。朽。惜。れ。り。ま。く。り。と。勢。猛。く。声。き。く。罵。ん。と。く。
 後。方。と。い。え。り。の。小。筋。ホ。小。の。こ。や。さ。と。と。あ。い。ん。鉄。餅。あ。つ。あ。け。て。つ。い。ぬ。
 拘。の。と。と。こ。と。下。り。不。和。と。不。破。の。関。が。く。恨。我。含。り。

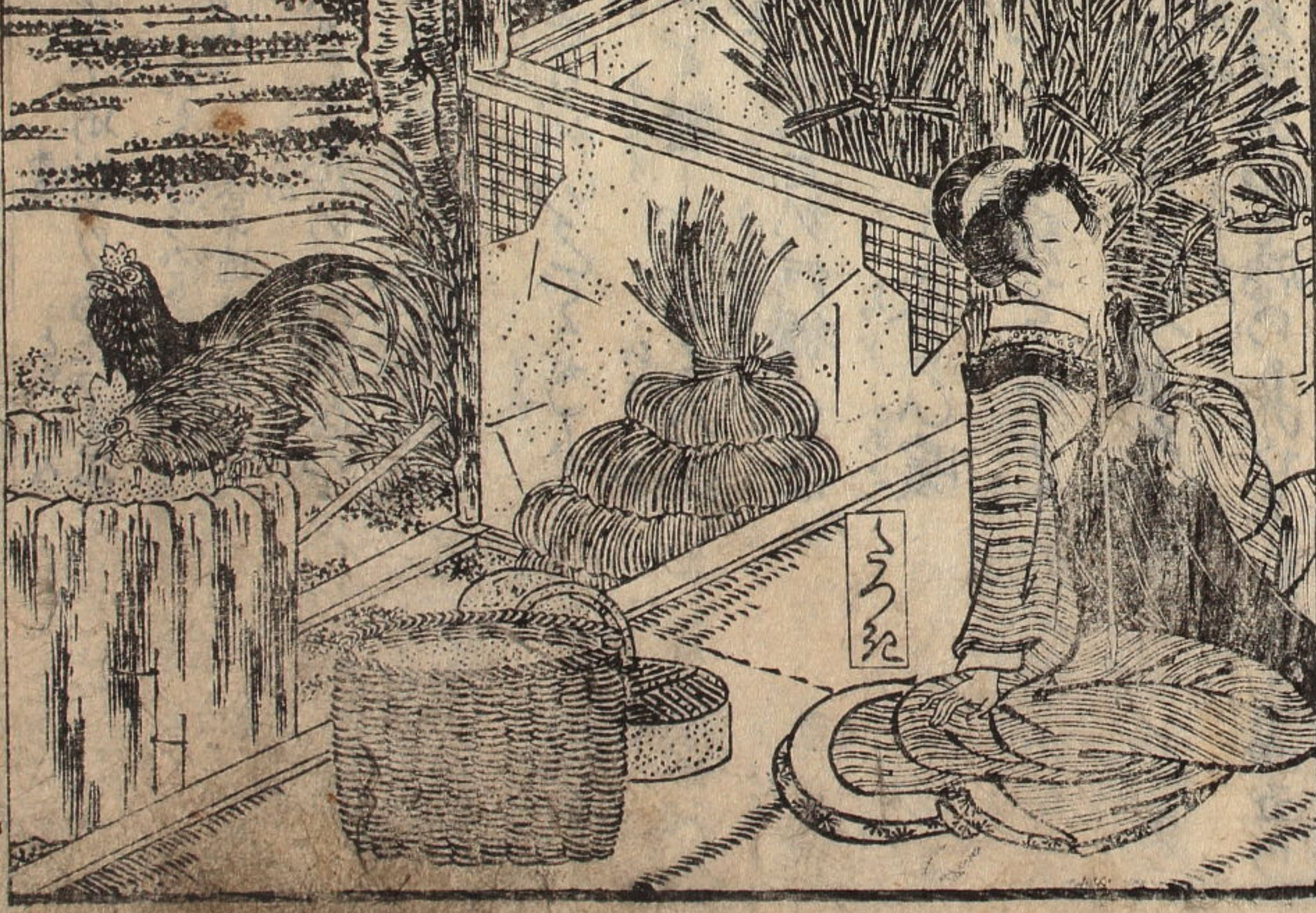
震為雷 落黄葉の下

さ。る。後。の。因。が。病。苦。身。は。遍。り。と。鍼。灸。茶。餅。の。效。も。ろ。く。諸。太。郎。が。初。七。日。小。屋。に
 ち。あ。り。ま。と。月。と。比。花。も。と。喻。人。可。惜。少。女。の。浪。人。の。女。兒。と。い。ひ。て。一。生。涯。
 め。同。と。あ。り。ま。と。月。と。比。花。も。と。喻。人。可。惜。少。女。の。浪。人。の。女。兒。と。い。ひ。て。一。生。涯。
 の。と。ど。も。こ。も。再。と。妻。と。子。と。一。句。が。う。ら。い。喪。ひ。と。殊。又。よ。ま。り。果。活。
 業。と。い。ま。と。月。と。比。花。も。と。喻。人。可。惜。少。女。の。浪。人。の。女。兒。と。い。ひ。て。一。生。涯。
 こ。も。か。つ。て。も。あ。い。現。主。の。の。の。日。は。疎。く。か。う。や。い。よ。は。い。り。へ。び。ご。い。も。又。
 益。の。五。分。な。り。よ。や。財。の。限。の。の。く。僧。又。施。し。俗。に。施。し。只。念。仏。三。昧。に。
 千。万。年。送。り。と。と。こ。い。ふ。が。あ。り。費。と。残。り。死。す。る。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。

終くは土の下なる妻と子もかたくな
 残と貰へしより。方便とめづり便宜と
 ぬが面うゝ知る女児こそ返さるゝか
 還くはせん渠が十二分の標致してより死
 女塔と擇るゝ齋うらむととらむ獲場
 ととどくお酌ととり復と計策とかる
 とひ致若くぬ知量と撈とる。いひよ
 一へらうけり。不顯下従るゝ子口村ま
 謀松が一通の送書とのとつ。美濃路
 投て比養母を介と追ひもとめど空ま
 大八と招よめて彼送書致んせふ。丈八



今め尾り紙うらむにんて冷笑ひ十三
 四軍信か死親の安不致同ん為這奴
 たるぐと稲葉少少赴んてあひらた
 今の世の地方とて。戦場るゝぬ里も
 なく。國の濱の固けと忽地途は抑留
 せらして。餓死せんは必定ははらち捨て
 お死あんとしよ。谷八公かちわていよ。押る
 氣とるゝ。是より丈八と宿汗はあめ
 淫楽との事とせり。抑弁が此年来
 貯禄は死家致もり。安くは日
 送るゝ何致生活もさるやん。ととらめ



禿人とも多し。こまばりては、その下、め、好、り、共、よ、又、淺、田、は、人、と、な、り、て、
 時、頼、藝、の、お、づ、る、不、給、事、せ、り、の、う、り、と、ふ、三、つ、番、不、出、り、今、村、落、は、漂、泊、し、農、
 夫、の、妻、は、う、り、て、才、の、編、蓬、は、あ、り、と、い、ふ、と、物、の、い、ひ、ぶ、る、い、と、を、と、び、て、結、髪、
 化粧、も、鄙、り、と、ふ、こ、の、容、止、好、は、か、り、と、十、分、の、美、人、と、う、い、は、れ、ど、又、然、り、と、
 人、と、迎、へ、押、さ、す、易、に、淫、婦、と、い、ふ、夫、は、い、さ、り、ぬ、り、し、て、ち、や、う、入、況、と、謀、め、か、
 ら、し、と、う、り、て、の、媚、或、街、と、里、の、仕、伎、を、魅、し、そ、の、人、乃、試、と、り、竭、せ、ば、又、
 い、く、も、夫、と、う、り、と、一、郷、の、襪、と、屑、と、せ、ど、妙、行、穢、る、而、移、り、て、年、來、と、
 理、の、難、し、う、ら、ぬ、良、人、と、恋、し、と、と、り、と、坐、し、く、食、ひ、暖、は、衣、て、世、の、う、り、と、
 せ、ど、と、う、り、か、い、ぶ、こ、の、さ、る、西、年、の、老、し、る、少、死、と、さ、ら、う、ま、さ、ど、又、男、の、美、と、
 醜、は、言、ど、と、被、り、ぬ、得、意、と、さ、る、と、り、と、馴、り、と、い、ふ、と、飽、と、速、く、會、と、
 し、と、と、離、と、易、し、と、さ、ら、中、は、彼、丈、ハ、英、法、の、加、落、の、の、か、り、死、年、十、四、五、の、

比、京、上、り、高、家、の、小、厮、は、な、り、つ、其、如、は、五、六、年、秋、と、せ、り、又、筆、筆、と、
 拙、り、と、さ、り、て、高、貴、の、経、營、は、才、圃、と、り、め、の、う、り、と、ど、奸、智、を、又、人、と、
 捷、し、そ、の、心、ざ、ぬ、も、と、り、と、果、は、主、の、物、を、掠、め、り、墓、を、京、と、遠、電、
 舊、里、と、り、兒、は、逐、と、り、武、義、下、徳、の、間、は、夥、の、年、月、と、り、と、せ、ど、と、定、と、り、
 宿、野、と、り、筆、筆、紙、と、り、人、は、催、と、り、或、と、死、し、今、様、の、曲、子、と、唄、い、く、酒、
 燕、の、席、は、血、と、り、と、生、活、と、り、と、の、ん、か、く、と、丈、ハ、い、ひ、の、鄰、村、(う、り、と)
 多、く、彼、此、の、仕、伎、と、り、と、の、い、ひ、と、り、と、利、得、り、と、せ、り、と、里、人、ホ、と、
 ち、や、う、と、り、と、り、め、の、こ、と、り、と、り、と、田、舎、と、り、と、踏、り、と、り、と、
 稀、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、才、と、惜、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、
 ハ、い、ひ、の、芥、小、か、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、
 芥、小、の、か、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、り、と、

勳當せらるる十六七年。其の時と死つた送の音耗する一しるの事と。
 多くもあつぬ同胞之令うと故郷へくるも。中らへんが死にじつたりとて
 兄の富むりのるらと称ど加々清山の麓しう。猶夫株義とらへば。まらざるの
 りし。よや兄が怒る解どる。不その宿所へ容る色ととも牛馬の友と
 彼れよあをどど中をかゆわらるる。ととらふ吾侪のら共。まらざる。猶
 平少の赴死。涙やがわらる。或同定ぬ。の。恙る。彼れよあ。羊年
 艱苦我告。あまら。恨を述。く。く。良人。責多。又涙や。彼れよ。とて
 往方。多。とゆえ。世。憚の。直。加々清。伴。夫婦。一
 うて。一期。事。西。全。の。謀。この。人。は。と。あ。人。
 少。介。の。死。は。殺。び。あ。才。の。多。死。死。死。の。荒。波。を。投。て。あ。
 箱。の。し。と。教。う。と。と。ら。が。故。御。と。多。流。る。と。二。親。世。死。と。う。

一の主りる。頼。藝。朝。臣。の。既。滅。亡。も。人。の。彼。地。は。遇。む。落。つ。り。と。その。
 舊。里。を。あ。り。下。刈。む。あ。か。と。共。あ。り。け。つ。し。と。く。眉。は。火。の。つ。く。
 猛。の。妙。装。と。その。介。ま。ら。村。長。の。宿。所。へ。赴。死。く。旅。の。よ。我。告。良。人。
 涙。や。箱。の。し。の。死。し。一。羊。野。怪。と。も。雁。の。翔。の。書。を。か。し。ま。ら。ず。
 公。さ。く。ゆ。り。し。今。茲。の。園。の。瀆。も。む。ら。け。く。彼。地。より。あ。る。人。も。あ。る。と。す。
 ま。は。後。は。ゆ。と。と。あ。ら。る。む。び。り。は。途。の。伴。侶。を。ゆる。う。と。あ。る。箱。案。
 少。の。赴。死。く。良。人。の。さ。と。し。謀。松。が。往。方。と。素。人。と。多。ひ。ゆ。り。就。て。此。の。田。園。と。債。
 の。代。は。領。り。あ。ひ。く。後。この。の。い。も。か。く。も。計。せ。り。と。い。ひ。ゆ。り。の。よ。は。死。や。し。
 為。多。ゆ。り。と。し。と。あ。ひ。と。と。ら。涙。を。拭。ひ。つ。別。致。告。里。人。ホ。と。と。と。告。で。
 と。と。と。あ。り。あ。る。の。ら。死。と。あ。う。家。具。は。と。と。家。と。人。は。竊。小。徒。と。
 路。費。の。元。田。の。早。苗。と。る。は。大。八。り。共。紀。抄。して。目。ふ。歩。を。夜。は。宿。り。

目下へく。是の稲葉の稲葉の稲葉つ。さうさうさうさう謀め狂死のよひ伝は
 刺その子謀松が往方と定ろうるつとさび谷にさうと丈八のさび物怪の幸
 あり。強く谷沢誘引つ。加々加の兄と坊の家を昔のからり孫主人の
 すが兄株飛らるらむとさびつとと研とさく縁由と尋さぶその人巻で舊主人
 株飛を力さるるつと。や十四五年よりぬ。彼人のさうつ死てさびの
 物さうあり。天文元年某の月今の園主の地内さう。年月乃給の奴隷謀めさ
 びさめ。合縁林のやとりさく。狂死せとありなり。ある小犯人さうつ
 ぼ六株飛と復市とさびの連累せさく。矢度獄全と転せつ。復市の
 さびさめ力さるら。株飛の辛くと。赦よあさうつふささ。さび心伝
 つつさう果ささ。下さび病つ臥ささ。漸く。其の次の年。春比
 黄泉の客さうのぬと入。年さう三十あさる人の妻子さうさうらさ。

さうさうさう房さうさうさう比吾侍由縁へさけささ。媒灼ありて家を購とら。
 本荘村より移住せさめさう十年なるぬ。原來和殿の株飛、由縁あり人
 了。そつとさうさうと。稲葉のやわさうさうめ甚さ此もさうさうつ
 あが。樞と尻さうさう。茶と喫く。懃いあさ。いと正首さうさう。毎さ丈八
 呆さ果さ。面談あり。言吐死ささ。さう其死と去さ。此彼相識る
 ぬ。死坊。孰さ丈八と。悪棍とさうさう。死果が京あり。と死主を倒し。
 兄と苦め。逐電さう。年累所をさうさう。今更猛な女人をさう。
 舊里へ帰らさ。その友量さうさう。おささ。と丸彈さう。めさびのさ
 著さ丈八の案ささ。さびさう。うら腹さうのさ術さう。又斧を推して投さ。
 さうの定め。招と加。さうより七里西さう。大関村さうと死斧の忽地。暑邪さ
 中ささ。いと難さ。又えさ。則さう。宿投さ。西二日逗留さ。さう六月の

さうめの子を養ひて白木屋平の妻とその子を養ひて白木の法輪寺に
結ぶとて。過七の連夜毎に大岡村をめぐりし宿のありて指しと彼を
聞の塙橋の造次鏡高がくふと又墓系まるとあやわぐえ命運あると
うらな大買のつらしむと必ば必転るとあり。七日が後、妻小後と子を
養ひてつとむの財ありとも拒らるる譲らるるさうめとわらぬとむらぬ
やこらうかるふ鳴平をさうめとあごむ笑ふ丈夫の斧とくさすまき出
要時緒平目送りつ彼が發跡するお紙同の富強と勝と相むい
僻るのつらつたむ宿の主人の諸平がうんと人のつ随にやゆの随いと
つとらふ小説をば果に笑ひは散動多。とぞはたあはた八も。諸平が
うんとやうしと。渠と謀らむや。とさふむつたよとさうめひとりまらるを碎く
後よ次の日の計を生。緯十二分はたくとむらぬ自は傍に入る死おとん

斧亦や折れず。豫ておれ方のふら止る加々橋は足とどめ二期とるこんと
おひさるは。魁の骨角と齟齬と。今又のみ口はうらむと。往方を定めやうける
と。究竟のりおれつと。さうめおれ方のと謀る。彼白木屋のたふひあり。
おれ方のてしては。おれつと。おれつと。渠かるらむと。おれ方のを
おん身まごその家へ入り。これ又後は彼れ入り。内外より謀れ計る。
主人はとらおれと。おれと。おれと。おれと。一旦権ひら。著は彼か
嗣が子に。自然利息の終ると。及び。金銀財宝のぶと。曲突の反毛の
猫を殺し。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。
山皇快愉と。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。
こらと。緯緯は。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。
せん。こらと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。おれと。



地藏堂
 益中り
 貧夫
 淫婦
 賺さる

一丁
 延命
 地藏
 尊

水子家

丈八

哀とて云ふも市人としひくけく目然拭ひとあふぞある昔やと月前
 爛中りたるは紙推あていと惱むらえあへば猪平の慌忙つち後方
 上と繞りて背をかきり搔搔まわらせ世とて時とて痛や美徳は國司と
 仰とあひ頼藝朝臣の妹君と名告らせあへばはるは賤ま山見僕と死
 賈人といふも昔恩と忘るるは心かつと思はせも力ひとらふともかきさる
 べとよゆと慰くも人袖の下より首さへ入るる瘡紙推下まわらせ
 留奇南の董さるるさきさき動く凡夫心ありがひもるは妻とせら
 喪ひ一才ハ餓るる猴の桃を抱くは異るるさきさき分別する劇削る敷よ
 鄰は地花堂昨宵乃夢想灼然握ひは出現をひて猪預成就とる折
 丈八の蓑の下は皂草の腹巻一と十王院の膳當は藤柄の天刀と膝竹子
 笠と額は鬚く南の方より走下る地花堂とさう眠死く姫君くよ

在まると声高ちり喚門ハ猪平ハことハ驚きとて力を隠さるる限を
 うらむままもく忙く忽地は下壇を撞と滾落敷石は腰を打して足さ
 ころよろろの裳を面引被く要時の起るはゆかりりり當下弁を
 笑ひ紙忍びく外面をうらうらめ地野は八糸はじりとりよは八邊
 しく笠投棄てとて入りとひくけるは驟雨は雨衣の唯依ゆるは後
 兼は求め進らせんとく此引さかりし隙は姫君乃ち往方とあらま
 驚るは睜く彼此と索もはは福をよこの処は分るるの微臣か教ひ
 こしはこいさびと雨とや霽りやべつとあ人といさびまうせび弁は紙
 指くころのさびと迅雷よろろ瘡の發まらふ一歩とる不運びがど
 寔は人小人鬼うらうら宿りよとこなる市人いと叮嚀よろろいと
 勳王女抱大くころのさびり紙被物とらせよと仰まらよ力をゆるて猪平

やうやうと乳せむ丈八の信とて。何れの何人と志し給ごも一樹の蔭も
 他生の縁故ありと世に潜せぬ姫君のあは病苦致者病まわし世こそ
 神妙なることと人む諸平の額或著僕へ堀橋の白木屋とゆきこる賈
 人よ此とを述ごり俄は遺跡く地方久しきものなり後ば志しめを
 せぬともあへず。あつりやも前の酉司の妹君と名告りせぬとて
 情るくえむとて。あは供の方ごぬ通すあはしむる後中なり。あは
 丈八うち名取姫君乃あはうと。あは志しきこれに匿むし。あは
 ちの六姫の乳母子。数うり給ごも。あは地野屋八。年頃冊をとり。岐祖の
 山里に潜せたり。うは年月を送るといふと。あは運命のうらむとあは
 近江なる祝音寺の佐末家の舊縁をすませば。廻姫君致勸めなり。
 佐末家を憑んとす。あは志しきこれに匿むし。あは運命のうらむとあは

護ひめらむ。館のちやへ定らるる。世に死人よありあを告るものも
 あらるるよ。今又ひとり阿容とて祝音寺の中へあは尼よあはと告るよ。
 ちやへとらへ。あは志しきこれに匿むし。あは運命のうらむとあは
 のあは志しきこれに匿むし。あは運命のうらむとあは
 聲めや。あは志しきこれに匿むし。あは運命のうらむとあは
 埋木の月のやま果も仏縁薄く。尼よあはと告るよ。
 だも賤のどの。あは志しきこれに匿むし。あは運命のうらむとあは
 ちのあは志しきこれに匿むし。あは運命のうらむとあは
 名ける。あは志しきこれに匿むし。あは運命のうらむとあは
 郎を在ら。あは志しきこれに匿むし。あは運命のうらむとあは
 痛く。あは志しきこれに匿むし。あは運命のうらむとあは

姫君は且く舎弟をとり某一人親音寺へ参りて。佐木殿へ危急状告
 うぶ或は千金二千金借受人と難言をありて。その金銭のく姫君の
 姫君縁と暮入りの状とを又も言はせり。その言ふは任じせし
 憑人も多し。とひりて。利は誘引は諸平の言をす。み物敷
 ろくぬ買人が。ちやせんへ。嗚呼。とて。近江へ。金平調達を
 頼み。某力より命よりけり。姫君と與に。なると。許し。多し。と。同して
 丈八丈八。及び。現潔さ。和殿の。仇。使。武士も。及び。天晴。憑。に。拘り。する。假。初
 かな。ぬ。誠。心。を。顯。せ。し。ま。は。り。を。疑。り。て。近。江
 い。ち。ん。姫。の。心。を。し。り。ふ。と。や。と。同。女。を。荒。介。と。う。ち。笑。と。憑。す。く。な。り
 こ。ら。い。と。ま。つ。つ。伴。人。と。し。り。て。推。辞。を。喃。諸。平。と。あ。ん。そ。う。の
 宿。呀。の。行。れ。と。や。子。も。夥。産。し。る。家。刀。自。あ。り。と。念。ひ。て。同。諸。平。を。

挿。死。十。年。の。早。病。ひ。る。女。房。の。ひ。ひ。子。さ。入。は。お。ほ。じ。比。力。ま。り。て。や
 日。下。り。種。る。徑。常。の。為。使。る。小。断。西。三。人。女。も。大。九。女。の。子。と。い。ふ。の。ぬ。牝。猫
 とも。ひ。り。と。や。と。ま。つ。つ。又。荒。介。と。う。ち。笑。む。顔。を。袖。り。て。掩。ひ。ま。つ。て。お。ち。あ
 たり。か。る。う。ら。む。と。い。ふ。と。と。姻。姉。言。ふ。ハ。隠。口。の。初。髪。結。い。あ。り。た
 結。ぶ。縁。の。詐。欺。の。黄。金。の。買。い。の。餌。食。欲。を。ぬ。る。雨。後。の。道。は。草。葉。を。と
 い。と。浮。れ。伎。倆。と。い。ふ。竟。は。曉。ら。む。諸。平。い。し。と。信。じ。て。人。の。怪。む。と。あ。り。て
 途。に。こ。の。日。暮。し。つ。関。の。名。の。と。戸。讀。せ。ぬ。小。川。の。宿。呀。へ。夜。返。こ。り。て。件。の。二。人
 伴。ひ。多。り。却。説。丈。八。の。白。木。屋。ふ。その。夜。返。あ。じ。く。甘。く。諸。平。致。相。譚。裸。せ。金
 子。調。達。の。為。佐。木。家。推。系。ま。と。く。甲。夜。より。又。は。旅。と。ら。の。用。意。て。その
 結。旦。西。紙。投。く。出。し。う。百。日。あ。ま。り。久。し。ま。ま。と。い。ふ。各。の。情。を。ひ。り。願
 諸。平。致。誘。へ。と。ぞ。外。房。の。数。も。か。ら。ま。す。は。松。尾。山。の。千。代。ま。と。離。れ。ば。と

口は呪ふと。かゝる猪平の熱い。隠しごとと。ど人も志を。七妻園が送せし
 衣。そがまゝ小芥は被せ。賈人の女房は造りえ。まん。試は。庖福乃と。我
 仕てける。節儉と宗と。て。かひ。く。賈人省死正首。うら。ざる。と。を。ま。ん。が
 ま。と。く。こ。こ。我。愛。飲。び。只。つ。と。か。く。妻。と。い。ひ。良。人。と。育。眉。と。土。庫。の
 漬。る。ぐ。も。と。芥。が。腰。は。著。さ。う。と。金。銭。の。出。納。ま。だ。大。く。は。任。世。北。野。忽。地
 晨。く。芥。が。控。威。主。人。と。起。る。我。小。厨。の。襪。子。も。後。と。以。紙。摺。ぬ。む。丈
 ハ。こ。の。と。か。ま。ま。ぐ。う。く。近。御。は。願。と。く。と。り。今。は。な。や。し。れ。比。る。の。と。て
 しく。勞。と。て。る。ち。の。し。ら。く。白。木。屋。へ。う。り。来。し。け。れ。は。猪。平。が。これ。を。扱
 へ。ぐ。ら。閑。室。へ。吸。び。入。り。と。く。芥。と。も。又。園。坐。つ。こ。そ。佐。木。家。の。消。息。を。か。ら。よ
 大。八。頼。は。以。紙。摺。ぬ。某。親。音。寺。の。城。へ。急。了。く。姫。君。愛。落。し。の。ふ。す。し。紙
 町。噓。は。又。え。の。あ。げ。る。不。秋。孫。の。紙。紙。妻。は。演。ん。と。と。よ。ひ。ら。う。又。賀。之。紙。の

猪老臣却狐疑の公。う。く。と。ん。心。鄰。國。の。間。諜。者。う。ら。び。と。て。矢。度。は。某。次。生。拘。せ
 獄。舎。は。終。ぎ。と。九。十。餘。日。鬱。憤。腸。と。お。と。く。と。を。愁。訴。の。路。竟。は。用。け。徒。は
 死。と。候。ん。よ。り。へ。と。一。夕。風。ぬ。は。粉。と。つ。辛。く。獄。舎。紙。脱。を。出。さ。う。う。く。い。と
 突。し。や。は。述。し。ぶ。猪。平。の。忽。地。に。紙。失。ひ。呆。る。と。半。晌。を。ら。う。芥。を。と。め。お
 る。紙。の。し。ら。つ。近。の。の。の。恨。む。と。も。及。び。と。と。今。と。紙。出。て。又。何。れ。へ。の
 進。ぶ。紙。の。し。ら。つ。近。の。の。の。恨。む。と。も。及。び。と。と。今。と。紙。出。て。又。何。れ。へ。の
 心。吐。す。あ。ふ。う。と。り。が。丈。八。嗟。嘆。し。く。心。あ。て。は。と。と。り。多。う。依。り。木。敏。お。と。下
 容。く。色。紙。が。と。り。外。は。憑。む。蔭。は。滅。し。夫。婦。の。情。縁。は。貴。死。賊。と。是。に。別
 ち。と。他。の。し。ら。つ。と。え。と。せ。め。め。と。壽。初。を。述。し。ぶ。猪。平。の。ひ。と。り。若。は。て
 丈。八。と。旁。の。も。と。と。く。紙。と。も。い。ひ。う。け。と。紙。ぬ。む。店。は。居。て。動。静
 と。為。紙。紙。の。も。武。士。の。果。と。ら。お。う。賈。人。の。し。ら。は。し。く。と。母。筆。小。新。紙



環橋の
木店
熱開乃
光景

諸國書状

丈八

諸平

岐秀

八丈総書卷二

十四

八丈総書卷二

十四

勲(損益と辨)と辯(と)と... 諸平(と)と... 正首(と)と... 生馬(と)と... 目紙(と)と... 佛(と)と... 刹(と)と... 諸平(と)と... 竟(と)と... 時(と)と... 店(と)と... 白(と)と... 成就(と)と... 陽(と)と... 誠心(と)と... 陰(と)と... 穢毒(と)と... 物(と)と... 情(と)と... 盗(と)と... 家(と)と... 密會(と)と... 人(と)と... 寺(と)と... 諸平(と)と... 二年(と)と... 諸平(と)と... 芥(と)と... 守(と)と... 妹(と)と... 乳(と)と... 母(と)と... 子(と)と... 虎(と)と... 落(と)と... 芥(と)と... 現(と)と... 丈(と)と... 八(と)と... 十(と)と...

年來(と)と... 鬼(と)と... 忽(と)と... 地(と)と... 復(と)と... 人(と)と... 親(と)と... 況(と)と... 後(と)と... 妻(と)と... 老(と)と... 坂(と)と... 時(と)と... 年(と)と... 波(と)と... 巨(と)と... 萬(と)と... 復(と)と... 謀(と)と... 流(と)と... 妻(と)と... 芥(と)と... 心(と)と... 官(と)と... 時(と)と... 天(と)と... 丈(と)と... 七(と)と... 年(と)と... 春(と)と... 二(と)と... 月(と)と... 芥(と)と... 城(と)と... 中(と)と... 義(と)と... 龍(と)と... 且(と)と... 家(と)と... 隸(と)と... 郎(と)と... 堂(と)と... 氏(と)と... 利(と)と... 富(と)と... 策(と)と... 同(と)と... 群(と)と... 義(と)と... 龍(と)と... 且(と)と... 家(と)と... 隸(と)と... 郎(と)と... 堂(と)と... 氏(と)と... 利(と)と... 富(と)と... 策(と)と... 同(と)と... 群(と)と... 優(と)と... 方(と)と... 當(と)と... 下(と)と... 義(と)と... 拙(と)と... 左(と)と... 友(と)と... 信(と)と... 天(と)と... 丈(と)と... 十(と)と... 六(と)と... 年(と)と... 秋(と)と... 九(と)と... 月(と)と... 先(と)と... 君(と)と... 道(と)と... 三(と)と...

平去の後、家嫡として其妻、美嗣、幸はして武多、成、薩、三、志、志、武、突、戦、
 防禦の軍、後、休、暇、有、豫、て、あ、ひ、工、成、果、さ、ぞ、又、あ、の、春、を、迎、へ、り、侍、は、不、破、石、津、
 の、愚、民、ぞ、の、五、月、五、日、子、を、生、ま、れ、お、忌、て、こ、も、成、棄、の、め、あり、不、慈、不、仁、の、手、
 ろ、も、ご、や、よ、り、て、こ、も、儒、臣、は、命、ど、く、和、漢、の、例、成、考、索、昔、唐、山、は、い、ま、く、
 の、る、こ、あ、り、ろ、齊、國、の、田、文、は、五、月、五、日、は、ま、ま、こ、ろ、又、田、嬰、こ、も、成、忌、て、等、び、と、
 ろ、も、ご、と、し、い、と、の、母、松、は、養、育、せ、り、田、文、後、角、の、比、た、り、め、く、又、は、見、原、五、
 月、五、日、は、ま、ま、こ、ろ、子、と、ろ、ぞ、不、祥、と、さ、る、ふ、や、あ、ら、ん、こ、ろ、め、ご、じ、と、同、く、其、又、登、
 凡、の、日、は、ま、ま、こ、ろ、子、の、長、戸、と、有、ら、る、と、死、に、必、親、は、あ、り、と、成、譯、の、田、文、
 中、へ、命、成、天、は、受、ら、り、ぞ、ろ、命、と、戸、は、受、ら、り、一、戸、は、害、の、ら、ん、ぞ、の、戸、と、ま、ま、
 せ、ん、孰、ろ、ぞ、此、は、至、ら、ん、嗚、呼、ろ、ろ、い、ふ、ら、ん、ぞ、や、と、信、て、ら、ん、こ、ろ、ま、ま、せ、り、又、
 中、や、い、と、成、曉、ア、も、く、ろ、め、く、こ、の、子、の、賢、ろ、成、も、ろ、ろ、ぞ、い、げ、ろ、め、あ、れ、

田文、當、世、に、四、十、七、の、賢、人、と、く、孟、嘗、君、は、封、が、た、り、富、貴、と、人、臣、の、う、へ、り、
 大、な、家、を、起、し、ろ、こ、の、餘、王、鳳、王、鎮、惡、胡、廣、ら、ど、い、賢、人、と、り、端、子、守、り、
 或、は、卒、し、く、長、と、な、り、或、は、棄、ら、る、又、母、後、悔、し、く、又、は、親、子、の、名、告、成、り、是、下、り、
 推、と、死、の、五、月、五、日、は、ま、ま、こ、ろ、子、と、後、く、不、祥、と、り、ろ、ぞ、却、賢、人、貞、女、と、ろ、生、死、の、
 時、は、擇、む、し、し、は、け、ら、れ、の、死、さ、る、の、吉、見、え、ら、む、た、り、ぞ、い、は、い、と、成、成、り、
 こ、の、昔、は、今、も、ろ、向、後、端、午、は、ま、ま、こ、ろ、子、と、棄、ら、る、と、成、禁、ま、り、加、梅、子、は、棄、ら、
 悔、し、ろ、復、を、お、よ、め、の、棄、ら、る、年、の、多、少、は、後、い、養、長、三、月、の、も、昔、と、銀、鏡、養、親、は、
 贖、て、こ、の、子、と、舊、へ、こ、ろ、ど、か、て、ま、ま、法、な、を、犯、し、く、不、慈、の、行、ひ、さ、る、の、め、あ、ら、
 こ、の、こ、も、救、が、し、休、達、と、こ、ろ、成、ら、れ、く、邊、鄙、と、り、た、漏、れ、と、な、り、下、等、子、と、作、
 猶、細、牧、村、の、諸、老、臣、感、涙、と、拭、ひ、あ、ら、む、微、妙、死、神、變、と、表、す、の、め、あ、ら、君、の、
 又、母、と、り、仁、慈、の、心、こ、ろ、つ、つ、せ、め、へ、れ、武、運、長、久、四、子、孫、繁、昌、疑、ひ、か、く、い、と、會、

